

# 岡山県立勝間田高校

## ワサビ田復活プロジェクト

～勝間田高校生パワー！荒廃したワサビ田の復活を目指して～

### 取組等の概要



本校は、岡山県の北東部の勝央町にあり、農業に関する学科と総合学科の併設校です。その中でグリーン環境科園芸類型では、平成25年度からワサビ田復活プロジェクトに取り組み、現在6年目に突入しています。学校のある勝央町の隣町である奈義町馬桑地区では、昭和5年からワサビ栽培が行われており、かつては年間20トン以上を生産するワサビの産地でした。しかし、後継者不足などから徐々に栽培が縮小し、現在はほとんど栽培されなくなっています。この事実を知り、農業を学んでいる高校生の力でワサビ田を復活させたいと思い、このプロジェクトに取り組みすることになりました。このプロジェクトのテーマとして、特産物だったワサビ栽培の復活に取り組み地域を活性化することを目指しています。

#### 取組①「ワサビ栽培を復活させて特産物とする」

現地調査ではワサビ田は壊滅状態で、雑草と落ち葉に覆われた原野のようになっていましたが、ワサビ栽培に必要な、夏に涼しい気候と冷たくきれいな溪流の水があるという環境が整っており、再整備すれば栽培できると判断して整備を開始しました。整備後ワサビを植え付け、3年目となる平成29年にはワサビを収穫することができました。

#### 取組②「復活させた場所で栽培を継続する」

ワサビは定植から収穫までに3年間の月日が必要なため、定期的に除草や水の管理などを行っています。その年に収穫した分の量だけ、新しくワサビ苗を定植し、水害などで侵入した土砂を取り除くなどの管理をして安定した栽培技術の確立を目指しています。

#### 取組③「新たなワサビ田の整備・ワサビを活かした新たな特産品の生産に取り組み」

安定した生産量を確保するために、地域の方と連携して新たなワサビ田の整備を進めています。また、学科間連携により、食品科学科がワサビを使った商品開発を行い「ワサビアイス」を考案しました。鳥獣被害を防ぐための柵やネットでワサビ田を囲み、新しいワサビ田に苗を定植する予定です。